

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	USER Enzyme Mix
会社名	TOMY Digital Bio
住所	2-9-1 Ikenohata Taito-Ku, Tokyo 110-0008 日本
電話番号	(831) 713-4465
ウェブサイト	dovetailgenomics.com
緊急時電話番号	+1 760 476 3960
アクセスコード	334943
製品コード	DG-UEM
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	分子生物学キット
使用上の制限	製造者の推奨事項に従って使用すること。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示	なし。
注意喚起語	なし。
危険有害性情報	混合物は分類基準を満たしていない。
注意書き	
安全対策	産業衛生に気を配る。
応急措置	取り扱った後、手を洗うこと。
保管	避けるべき物質の近くに保管しない。
廃棄	廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。
GHS分類に該当しない他の危険有害性	知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
GHS(世界調和システム) によれば危険有害性成分は含まれていない。	

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	水で洗う。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 症状が現れたら医師の手当を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
応急措置をする者の保護	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧。 泡消火剤。 粉末。 二酸化炭素 (CO2)。
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。 これは火災を拡散することになる。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。 影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
-----------------------	---

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

下水や水路、地面に排出しない。

大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。 可能な場合は漏出物をせき止める。 パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。 製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。 残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

危険でなければ、漏れを止める。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

安全取扱い注意事項

接触回避

適切な衛生対策

特別な推奨はない。

長時間の接触を避ける。 産業衛生に気を配る。

強酸化剤。 詳細については、本SDSの項目10を参照。

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

成分	タイプ	数値	形状
グリセロール（CAS 56-81-5）	TWA	8 mg/m3	総粉塵
		2 mg/m3	吸入性粉塵

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。

保護具

呼吸器の保護具

手の保護具

目の保護具

皮膚及び身体の保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。 適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。

適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態

形状

色

液体。

液体。

無色。

臭い 軽度の。

pH データなし。

融点・凝固点 データなし。

沸点、初留点と沸騰範囲 データなし。

引火点 データなし。

燃焼性（固体、ガス） 該当しない。

燃焼又は爆発範囲

燃焼範囲一下限(%)

燃焼又は爆発範囲一上限

爆発下限界（%）

爆発上限界（%）

データなし。

データなし。

データなし。

データなし。

蒸気圧 データなし。

蒸気密度 データなし。

比重 データなし。

溶解度

水溶性 データなし。

n-オクタノール／水分配係数 データなし。

自然発火温度（発火点） データなし。

分解温度 データなし。

粘度（粘性率）	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	酸化剤と激しく反応する。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。 加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	この製品が熱分解すると、一酸化炭素および二酸化炭素を生成することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	この物質の毒物学的特性は十分に研究されていない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。
皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。
発がん性	ヒトへの発がん性を分類できない。
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類基準に該当しない。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類基準に該当しない。
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性でない。

12. 環境影響情報

環境影響データ成分	種	試験結果
エチレンジニトリロ四酢酸（CAS 60-00-4）		
水生		
甲殻類	EC50	オオミジンコ 480 mg/l, 24 時間
魚類	LC50	ファットヘッドミノー（Pimephales promelas） 59.8 mg/l, 96 時間
グリセロール（CAS 56-81-5）		
水生		
急性		
甲殻類	EC50	オオミジンコ > 10000 mg/l, 24 時間
塩化カリウム（CAS 7447-40-7）		
水生		
急性		
甲殻類	EC50	オオミジンコ 660 mg/l, 48 時間
魚類	LC50	コイ科 880 mg/l, 96 時間
慢性		
甲殻類	EC50	オオミジンコ 130 mg/l, 21 日間
塩化ナトリウム（CAS 7647-14-5）		
水生		
急性		
甲殻類	EC50	オオミジンコ 402.6 mg/l, 48 時間
魚類	LC50	ブルーギル（レボミス・マクロキルス） 1294.6 mg/l, 96 時間
慢性		
甲殻類	EC50	オオミジンコ 14800 mg/l, 21 日間
生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。	
残留性/分解性	この製品の分解性についてのデータはない。	
生体蓄積性	データなし	
生体内蓄積の可能性		
オクタノール／水分配係数 log Kow		
グリセロール（CAS 56-81-5）	-1.76	
土壌中の移動性	本生成物のデータはありません。	
オゾン層への有害性	データなし	

